

## 小・中学校の学習環境整備 (ICT環境整備、外壁、屋上防水工事 等)

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第10回の今日は、「小・中学校の学習環境整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 早速ですが、今日のテーマ「小・中学校の学習環境整備事業」の主な内容について教えていただけますか。

市長： 学校施設・設備の整備につきましては、市の最上位計画であります「三島市総合計画」において、学校教育の重要事業と位置づけており、学校生活での生徒の安全と安心を最優先に、計画的かつ積極的に対応しています。

今年度の工事といたしましては、中学校2校の外壁の塗装と屋上防水の改修工事を行います。

その他に、老朽化が進んでいる学校のトイレ改修工事を、引き続き計画的に実施していき、今年度は小学校4校、中学校1校の計5校を予定しております。

アナ： それではまず、中学校の外壁工事と屋上防水工事について詳しく教えていただけますか。

市長： 学校施設の維持管理におきまして、児童生徒が安全かつ快適な教育環境を確保するためには、計画的な改修や建替えを行う必要があります。

改修や建替えの際には、近年の多様化した学習形態に対応した教育環境や、省エネルギー化、防災機能の強化、バリアフリー化など、現在の社会的要請に応じ、今ある設備を活かしながら新しい機能を付加していく「レトロフィット」の視点を取り入れることが重要と考えています。

三島市では、改修や建替えの長期的なコストを予測し、トータルコストの低減と予算の平準化を行うために「三島市学校施設 長寿命化計画」を令和元年度に策定いたしました。

この計画に基づきまして、外壁の落下防止や、雨漏り等を未然に防ぐ目的で、本年度は、中郷中学校と中郷西中学校の外壁の補修及び塗装工事と、屋上防水の改修工事を行います。

アナ： トイレ改修の工事についても詳しく教えていただけますか。

市長： トイレ改修工事につきましては、老朽化している校舎トイレの配管を改修し、便器の洋式化や床のドライ化をするなど、全面的にリニューアルするものとなります。平成26年度から計画的に改修を進めておりますが、今年度は坂小学校、中郷小学校、山田小学校、長伏小学校及び錦田中学校で実施いたします。

トイレを洋式化することで、普段から自宅などで洋式しか使ったことのない児童

生徒が、学校でも安心してトイレを利用できるようになることから、生徒の健康面への配慮ができ、また、床のドライ化は、今まで濡れていることの多かったトイレの床と比べ清潔に保つことができるため、衛生面での効果もあります。

アナ： トイレは毎日使う場所ですから、子どもたちへの影響が大きい場所なのですね。それから、三島市では、県内で初めて全普通学級に電子黒板を整備するなど、学校における ICT 環境の整備にも力を入れていますが、今年度はどのような整備を実施するのでしょうか。

市長： 今年度は、文部科学省が掲げる GIGA スクール構想の実現のための整備を実施します。具体的には、児童生徒が一人一台ずつ利用できるタブレットパソコン、高速大容量の通信ネットワーク、そして端末の充電保管庫を整備します。

アナ： なるほど。タブレットパソコンであれば、パソコン教室内だけでなく、校内の様々な場所に持ち出してその場での調べ学習などに使用することができますね。

市長： そうですね。全ての小中学校の教室に整備済みの電子黒板をさらに拡充することや、プログラミング教育用ロボット教材などの整備を実施します。

新学習指導要領では「情報活用能力」を学習の基盤に位置づけていますので、新学習指導要領に対応した「活用される ICT 環境」の整備が必要です。

また、新型コロナウイルス感染症予防の視点からも、ご家庭と学校とを繋ぎ、学習支援の一助となる ICT 環境の活用方法も検討しています。

児童生徒たちの学びの機会の確保のため、そして今後の Society5.0 の世界を生き抜く力を身に着けるために、さらなる ICT 環境の整備を一層進めてまいります。

アナ： 電子黒板やタブレットパソコンなどの ICT を活用して、児童生徒の ICT 教育、新型コロナウイルス感染症対策、そして学びの機会の確保といった課題に取り組まれていくのですね。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。